

平成29年7月4日に埼玉県草加市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月4日22時頃、草加市氷川町（ひかわちょう）から松江（まつえ）にかけて突風が発生し、住家の屋根瓦のめくれなどの被害が発生しました。

このため7月5日、熊谷地方気象台は職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性のあるものの特定に至らなかった。

(根拠)

- ・被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・被害や痕跡は帯状に分布していた。
- ・激しい風はごく短時間であったという証言が複数あった。

(特定に至らなかった理由)

- ・現象の特定に結びつく目撃情報や証言を複数得られなかった。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約35m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

(根拠)

住家の屋根瓦のめくれがあった。

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。